

# 株式会社ディクセルR&D

使用製品：メディエイド アシストギア 腰ユニット  
メディエイド サポーター

## 企業紹介

2003年に大阪府摂津市で創業した株式会社ディクセルは、自動車のブレーキパーツの企画・開発及び販売を行っています。一般・ストリート用からレース・サーキット用まで「DIXCEL」ブランドで国内外に展開し、ラインナップは国産車・輸入車問わず幅広く、国内外の48メーカー、1,400もの車種をカバー。国内で高いシェアを持ち、海外展開を進めています。

また、海外旅行支援制度やセミフレックス制度の導入など、従業員の働きやすい環境づくりにも力を入れています。



## 抱えていた課題～メディエイド アシストギア 腰ユニットとの出会い



ディスクローターを持つ山畑耕平氏

ブレーキパーツは重く、ディスクローターは重いものだと15kg以上になります。それらのパーツを検品・梱包・出荷の際に一つ一つ手に持って作業を行うため作業負担が大きく、女性スタッフも多い現場では課題となっていました。

展示会でメディエイド アシストギア 腰ユニットと合わせて、手首やふくらはぎのサポーターなど複数のアイテムを紹介いただき、マルチタスクを抱えるスタッフに役に立つものがあるのではないか思い、現場でサンプルを体験したところ評価が高かったため、導入することを決めました。

## メディエイド アシストギア 腰ユニット 及び メディエイドサポーターを使ってみて

アシストギアに関しては、まず軽さに驚きました。それでいて重量がある梱包物を荷役する際にはしっかりとサポートされ、かなり楽に感じました。ピッキング時にも使用していて、オン・オフの切り替えが簡単なところも好評です。着けたままフォークリフトに乗れるところも良いですね。

手首サポーターは検品作業や女性スタッフの作業時に使用しています。保護されている感覚があり、終業後の疲労感も軽減されている気がします。

ふくらはぎサポーターは主に立ちっぱなしの作業時に使用しています。一番効果を感じる声が多く、使用しているスタッフも一番多いです。



パレットへの積込  
作業時の腰への負担  
を軽減



アシストギアを装着  
したままフォーク  
リフトの運転が可能



立ち作業が続く時は  
ふくらはぎサポーター  
を装着することも

一方で、アシストギアやサポーターについては、強制することで違和感に繋がったり、常時依存して筋力が衰えたりするリスクを考え、装着するタイミングはスタッフに任せています。負担が大きい作業の時に着ける、午後の作業から着けるなど、個人にあったタイミングで使用することで、より効果的なサポートが得られると考えています。

## 今後について

これら製品については、サンプルを体験して気に入り購入、使用しているスタッフが多い一方、使用していないスタッフがいるのも事実です。そういったスタッフにヒアリングを重ね、更に多くのスタッフによりよい職場環境を提供していきたいと考えています。

